

駄菓子屋オバケの弥恵子さん

クアトロ

■作品概要

^サーカル▽

癒し庵モモ猫(シカリオ／効果音／音声編集:ケバト)

卷之二十一

卷之三

100m 詞文字數

卷之三

呂氏家譜

登場人物

七

「アーヴィングの死」

周りから怖がられている事は認識している／根が暗く内氣でボソボソ喋る

日中は実家である駄菓子屋の店番(みせばん)をしていた

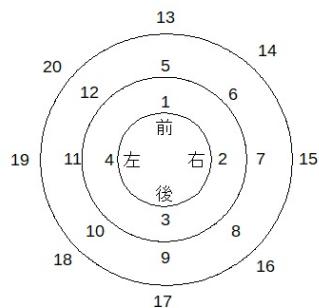
弥恵子が怖い世いで売り上げが落ちている

趣味／特技：店番をしながらの読書／妄想

^聴き手^

…近所に住んでる小学生(ノ/＼歳)

^台詞位置の指定図▼



図はマイクとの距離を示しています
1~4は30cm
5~12は50cm
13~20は1mを想定してお
距離が取れない場合、
こちらの音量調整等で対応します

1：近所の駄菓子屋さん（駄菓子屋／午後）2900文字

（口を開閉する音）

（位置14／有声音）

じゅつしゃいませ…。

（しばり／菓子を選ぶ音と呟音）

（弥恵子が本をめくる音）

（元へ近付く足音）

（口にお菓子を置く音）

（位置5／有声音／ゆつくりとボソボソとした小声）

あ…、また君…。

ああいえ…、よく来るなあと感じまして…。

君はその…、私の事…、怖くないんですね…？

はあ…、やうなんですね…。

君は少し…、変わった子…。

だつて…、私の噂…、知つていねいしよう…？

その…、近所の子供たちからは…、オバケ…、って言われてるんですね…。
こんな見た目ですから…、仕方ありません…。

それで…、近所の子供たちは…、ウチのお店に来なくなつてしまつて…。
今日だつて日曜日なのに…、誰も来なくて暇で…。

ああいけない…、お勘定…。

ひー、ふー、みー…。

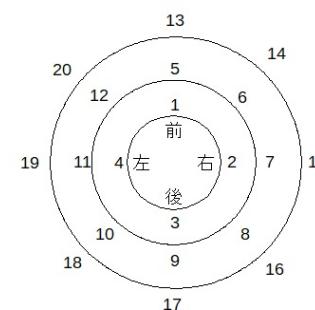
全部で五十円です…。

はつ…、わよひど五十円…。

ん…。

まだなにか用ですか…？

え…、口上で食べる…？



えーっと……、いいんですか……？

その……、私なんかと一緒に居て……、

もし他の子に見られたりしたり……、からかわれますよ……。

何か言われたら……、ぶつ飛ばす……？

あのあの……、乱暴はよくなこと思こませ……。

ですから……、喧嘩はしない……、と約束して下せ……。

はい……。

子供は仲良し元気よく……、が一番です……。

ああそうだ……、貰ったお菓子を「」で食べる……、でしたっけ……、もう開けちゃつてますね……。

いいですよ……、ゆっくりしてこつこつやる……。

あ……、もうだ……。

「」、来ませんか……？

だつて……、そこだと寒くありません……？

おいたに入つて……、暖まりませんか……？

無理に……、とは言いませんが……、暖かいので……。

はい……。

では……、「」……。

(足音と「」たつに入る音)

(位置／有聲音／ボソボソとした小声)

どう……、ですか……？

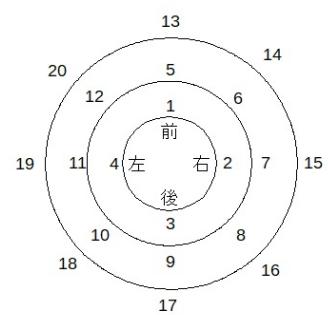
暖かい……、でしょ……？

そう……、よかつた……。

不思議ですよね……。

電気だけで……、こんなに暖かくなるだなんて……。

便利な世の中になりましたね……。



あの…、私の話…、聞いていますか…？

はあ…、よく分からない…、ですか…？

ああ、いいんです…。

「んなつまらない話よりも…、駄菓子の方が大事ですよね…。で…、あの…。

君は私の事を怖くない…、そう言つましたけど…、それは本当ですか…？

そう…、なんですね…。

ええと…、他の子たちは…、私を見るなり逃げてしまふものですから…。君みたいに人懐っこい子は…、なんだか変な感じがします…。

あいえ…、嫌ではないんですけど…。

むしろ嬉しい…、です…。

オバケ…、なんて噂されていますけど…、私は人…。

悪く言われるのは慣れていますけど…、それなりに傷付きますから…。

(立ち上がる音と足音)

(位置1／有聲音／ゅつぐりとボソボソとした小声)

ん…？

どうしたんですか…？

(弥恵子の頭を撫でる音)

ちよつと…、頭…。

やめてトヤ…。

え…？

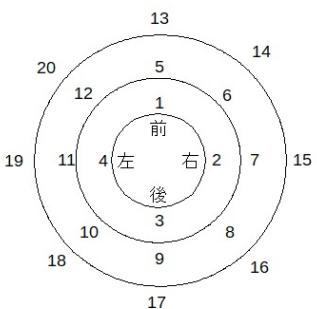
いい子いい子…？

はあ…、君に慰められるだなんて…、なんだか情けない…。

でも嬉しい…。

だつて…、誰かに優しくされるなんて…、久しづりですか…？

(驚いたという風に)



あつ！

ちよつとつ…

前髪は駄目つ…

触らないでつ…

(「」まで驚いたところの風に)

見ました…？

私の田…、見ました…？

見たんですね…。

(ため息) はあ…。

私…、人と田を合わせるのが…、凄く苦手で…、怖く…。

それで前髪も「」んなに伸ばして…、人と田が合わない様にしていねんじす…。

それなのに君は…。

え…？

かわい…かつた…？

じょじょじょ、冗談は…、よしてぐだか…。

い、いい加減な事を…、私だつて怒りますよ…。

へ…？

本氣…？

そ、そつ…、ですか…。

ええと…、ありがと…、『』あります…。

(位置3／有聲音／ゆつべつとボソボソとした小声)

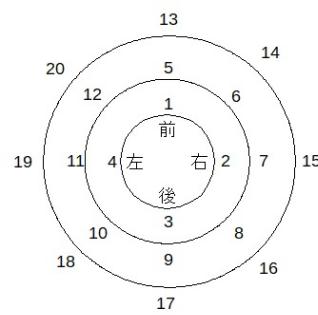
(弥恵子の膝に座る音)

あつ、ちよつと…。

こんな所に座つて…。

だつて…、私の膝…。

え…、「」に居たいんですか…？



つべづべ君は…、変わった子ですね…。

だつて…、他の子たちは怖がつて逃げぬづいたるのに…、君つたり…。
まあ君がそつしたつて言つてましたひ…、私は構つませんが…。

(駄菓子の包みを開ける音)

(位置4／有声音／むつづとボソボソとした小声)

あ…、当たり…。

しかも五十円…。

今からでも交換出来ますけど…、どうします…?

そう…、次まで取つておくんですね…。

君は欲張つなくて偉いですね…。

ええ…、計画的に次に回す…、食べ盛りの子には中々出来ない事です。
はい…、いい子偉い子お利口さん…、です…。

(位置2／有声音／むつづとボソボソとした小声)

あれ…?

私…、君と普通に話せますね…。

いつもでしたひ…、緊張してしまつて…、唾葉が出て「なにこんですけど…」。

それに…、「こんなにも喋つたのは…、いつ以来でしょ?」。

ふう…、もう覚えていませんね…。

学生時代も…、お友達は居ませんでしたし…。

話すとしたひ…、独り言ばかりでした…。

そんな私ですから…、趣味は読書…、ただそれだけ…。

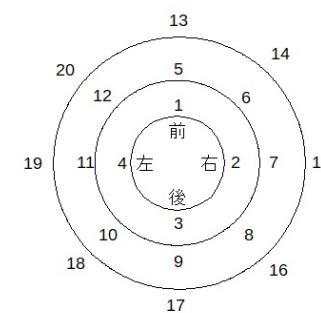
君は…?

本…、好き…?

えう…、よかつた…。

本はいいですよね…。

文字を読み取る事で…、その場その場のシーンが思い浮かんで…、



まるでその世界に入り込んだ気分になれる…。

(位置4／有声音／ゆつぐことボソボソとした小声)

君はどういう本が好きなんですか…?

そう…、動物や昆虫の…。

ふふつ♪

男の子らしいですね♪

え…?

初めて笑った…?

私が…?

ああ…、そつか…。

私…、話す事も笑う事も…、忘れてしまっていたんですね…。

君は凄いですね…。

まるでヒーローみたいですね…。

え…、だつて…、こんな私を恐れず…、

話を聞いてくれて…、笑顔にさせてくれた…。

ですから君は私のヒーローですね…。

(位置2／有声音／ゆつぐことボソボソとした小声)

そんな凄い凄いヒーローハン…、頭なでなで…、してもいいですか…?

特に理由はありませんが…、なんとなく…、やつしたい気分なんですね…。

ふふつ♪

話してくれますね…。

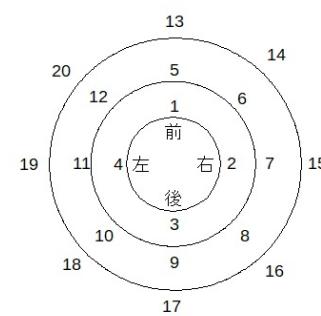
したいなさいよ…、ですか…。

ではお言葉に甘えて…。

なで…、なで…。

なで…、なで…。

まんざりでもない…、そんな顔…。



なで…、なで…。

（位置4／有聲音／ゆっくりとボソボソとした小声）

あら?・?

お耳が赤いんですけど……、照れているんですか……？

可愛い

可愛いものも可愛いんで
いいじゃないか

え
…
?

ヒー□ーなら…、カツコいいの方かいい…？
んー…、確かにそうですね…。

では…、カツコいい…、です♪

なで…、なで…。

小
小
大
大

満足そうな顔……

(位置2／有声音／ゆつくりとボソボソとした小声)

ああ、
そうだ。

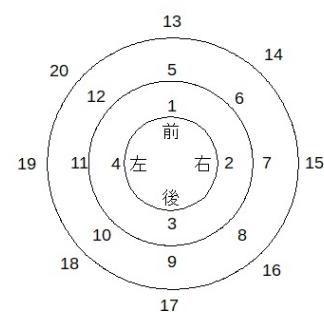
今さらかもしれません……自己紹介しませんか……？

こうして……、その……、仲良くなれた……？

のですから……。

13

名前は弥恵子……。



君にどう見えてるか…、分かりませんが…、ハタチです…。

ああ…。

ハタチは二十歳（にじゅうせき）の事ですよ…。

趣味は…、この通り読書…。

それ以外は…、あー…、特にありませんね…。

私が提案しておいて…、大して紹介する事がなくて「みんなさー…。あ…、はい…。

よろしく…、お願いします…。

次は…、君の番ですよ…。

（相槌）ええ…。

へえ…。

でしたう…、いまくらが一番樂しい時期ですね♪
学校…、楽しいですか…？

（相槌）ええ…。

（相槌）ええ…。

成程…。

それはよかつたです♪

私は…、学生時代に…、あまりいい思い出がありませんから…。

君にはいい思い出を…、たくさん作って欲しいものです…。

ああいえ…。

押し付けるつもりはないので…、今まで通り…、元気に通つて下さー♪

はー♪

お返事出来て…、偉い…、偉い…。

なで…、なで…。

なで…、なで…。

（位置4／有聲音／ゆっくりとボソボソとした小声）

あ…、 もう暫く時ですね…。

もうそろ帰らなくていいんですか…?

は…、 残ったお菓子は袋に入れましょ! ね…。

あ、 そつだ…、 当たり券…。

もう…、 五十円の…。

本当…?

また来て下れるとですね~

は…、 お待ちしてます…。

では…、 もう手は離さぬ間に帰つもしませぬ。

わがだ…、 送つに行きましょうか…?

あ…、 私なんかと一緒に廻のと熙りれたら…。

あ、 いえ…、 やめておやめしよう…。

いまのは聞かなかつた事にしてや…。

ええ…、 では…、 お返をつせ…。

2：駄菓子屋さんと耳かわ (駄菓子屋／午後) 3713文字

(口を開閉する音)

(位置14／有声音)

こひのこやこまわ…。

(足音)

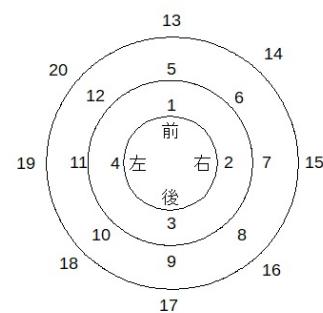
(位置5／有声音／ゆづくじボソボソとした小声)

やつぱり君…。

ああいえ…、 超能力じゃないですよ…。

だつて、 他の子はまづ来ないですよ…、 来ないとしたら君かなつて…。

これの…、 どうから超能力ではなくて…。



(ため息) はあ…。

そんなに田をキリキリセセ…。

あいこでしょ…。

今やうら私に新しい噂が立つても…、問題ない…、はぎです…。
え…?

ああはい…。

上がつても構こませんよ…。

(上がつてこたつに入る音)

(位置7／有声音／むづくとボソボソとした小声)

ふうひふ

あれから何度も…、いじつしてますね…。

なんだか…、歳の離れた弟が出来たみたい…。

あ…、『あんなやつ…。

私なんかにこんな事を聞かれたう…、迷惑ですね…。
え…?

うれ…、しじ…?

本当…、ですか…?

そう…、嬉しい…、ですか…。

それでその…、今日来た目的は…、お耳掃除で合つてますか…?
やつぱつふ

あ…、ですか…、超能力ではありますつて…。

だつて君…、来る度にお耳掃除してーつて聞うんですよ…。

あ…、嫌ではないんですよ…。

むしふいりがいり…、『馳走様』と云う感じなので…。
しまひ…。

いえ…、深い意味はないので…、気にしないで下せ…。

せり…、ねじに墻たら耳が出来ないじょ…
トあたる…、じりじり…。

(足音と膝に寝転がる音)

(位置ごとに有聲音／ゆつべつとボソボソとしたかなり小声)

ふふつ…

もうすっかり慣れたものですね…。

ああ…、いいんです…。

君は「」が落ち着く…、ねじりじる…?

ふふつ…

よーく分かっていますよ…

では早速…、やつてこせましようか…。

ん…、前回やつてから…、そんなに日が経つてませんか…、
余り汚れてはいませんね…。

あ…、ありました…

カリ…、カリ…。

「」しょ…、「」しょ…。

カリ…、カリ…。

「」しょ…、「」しょ…。

(耳ふー)

ふー…。

あ…、痛かつたら直ぐに離れて下せこね…。

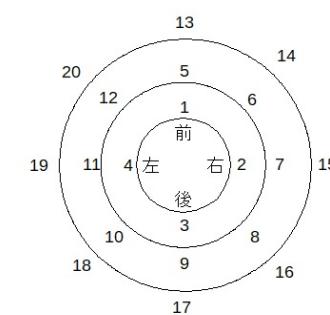
え…、我慢でやる…?

えつと…、我慢出来てとても偉いですが…、
もしも耳が傷付いてしまつてはいけません…。

ですから…、痛かつたらちやんといふ事…。

いいですね…?

は…、お利口さんです…



勿論私も…、慎重にやつてこせますから…、安心して下せ…?

カリ…、カリ…。

「じょ…、じょ…。

カリ…、カリ…。

「じょ…、じょ…。

(耳ふー)ふー…。

ねえ…、お耳掃除するの…、これで五回目…、でしたつけ…。

そんなにこれが気持ちいいんですか…?

へえ…、そうなんですね…。

カリ…、カリ…。

カリ…、カリ…。

(耳ふー)ふー…。

「じょ…、じょ…。

「じょ…、じょ…。

(耳ふー)ふー…。

最初は驚いたんですよ…?

突然…、膝枕してつて言ひ出さんですもん…。

ああでも…、嫌ではなかつたんです…。

むしろ私なんかに懐く子が居る…、と言つ事が嬉しかつた…。

そうしたら君…、耳かきもして欲しいつて…。

しかも、あんな顔で頼まれたら…、断れません…。

甘える様な…、懇願するような表情…。

君はズルいです…。

少なくとも私には…、断れない理由が出来てしまつたんですから…。

え…?

それは…、ですか…。

でも、どうしてお耳掃除だったんですね……？
おつかでお母さんによつてもいりやうじょん……？
えつ……。

そう……、だつたんですね……。

「めんなさい……、私……、知りなくて……。
えつと……、続き……、しましょうね……。

(少しの間無言)

あの……、やつせの話……、気にしてますか……？

そう……、ですか……。

君は強い子ですね……。

流石ヒーローです……。

悲しい過去を持ったヒーロー……。

「うつ病……、甘えていいんですからね……。

私がたつぱり甘やかしてあげますから……。

なーんて……、私なんかに言われても……、嬉しくないですよね……。

え……？

嬉しい……？

そうなんですね……。

あの……、気になつていたんですけど……。

お耳掃除をしていくと……、いつもチラチラと見ていますよね……？

何か気になる事でもあるんですか……？

へ……？

私の耳が……、綺麗……？

えつと……、その……、冗談はやめて下さ……。

いくら君だからって……、言つていい冗談と……、そうでない冗談が……。
え……。

ホン…、キ…?

あの…、あ…、ちょっと待つてもいいですか…?

(深呼吸) す…、ふ…、す…、ふ…。

すみません…、完全に油斷していました…。

あ、いえ…、じつうの話です…。

そう…、私の田が綺麗…、ですか…。

初めて言わされました…。

(眩ぐ様に) それも君に…。

あの…、もつと見たい…、ですか…?

私…、君になら…、勇気を出してみてもいいかなって…、思つたり…。

そう…、ですか…。

無理しなくていい…、か…。

言つてくれますね…。

つづりく君はヒーローです…。

ヒ…、ヒーローさん…、お次は梵天でフワフワしまじょいね♪

ふうふ。

嬉しそうな顔…。

「」の言つ所は…、まだまだ年相応つて感じですね…。

ああ…、難しい事は分からなくていいんですね…。

そうですね…。

じゃあやつていきますね…。

ふーわ…、ふーわ…、ふーわ…、ふーわ…。

(耳ふー) ふ…。

「」の言つよー…、「」の言つよ…、「」の言つよ…。

(耳ふー) ふ…。

ふわ…、ふわ…、ふわ…、ふわ…。

(耳ふー) ふつらつ…、 ふつらつ…。

どうですか…?

綺麗になりましたかー?

え…、 もうちょっと…?

いいですよ♪

ふわふ…、 ふわふ…、 ふわふ…、 ふわふ…。

(耳ふー) ふー…、 ふー…。

ーーしょ…、 ーーしょ…、 ーーしょ…、 ーーしょ…。

(耳ふー) ふつらー…、 ふつらー…。

ふわふわ…、 ーーしょーーしょ…、 ふわふわ…、 ーーしょーーしょ…。

(耳ふー) ふー…ふつふつ…、 ふー…。

はーい、 綺麗になりましたよ…。

分かつてます♪

反対もですよね♪

じゃあゴロゴロして下せー…。

(寝返りの音)

(位置4／有聲音／ゆつべつとボソボソとしたかなり小声)

はーい…、 言つ事が聞けて偉いですね♪

ーーともお耳掃除しましようね…。

えーーと…、 ーーひひもんに汚れてはーせんね…。

ふふつ♪

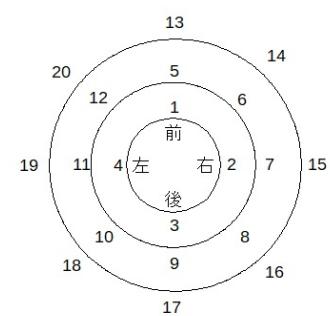
心配しなくても…、 ちゃーんとやつてあげます♪

はーい…、 じゃあ動かないで下せー…。

カリ…、 カリ…。

ーしょ…、 こしょ…。

カリ…、 カリ…。



「じつも…、じつも…。

(耳ふー) ふー…。

どうですか…?

もう…、よかつた…。

え…?

なんですか…?

最近…、よく笑う…?

私が…?

そ、そうですか…?

えつと…、その…、笑ってる私…、気持ち悪くあります…?

気持ち悪かつたら…、控えます…。

かわ…、いい…?

またそんな事を言つて…。

まあでも…、可愛ごと言われて…、悪い気はしません…。

もつと笑顔に…?

君が…、やせてくれるんですか…?

言つてくれますね…。

ふうひふ。

じゃあ…、ようしへお願いします…、ヒーローさん…。

(少しの間無言)

それにしても…、私はオバケと噂されている…。

その上で…、言つてはいますが…、他の子からかわれてしま…?

私…、余り外に出ないですし…、いつもいた事情にも疎くて…。

もし君が変な風に言わっていたら…、悲しいです…。

平気…?

もう言つて事は…、なにかされたんですか…?

駄菓子屋のオバケと…、何や合ひてね…？

いつも言われたんですか…？

そんな…、ひど…。

やはり私といつて仲良くなるのは…、よくないのかも…。
だつて…、君が傷付くのは…、見過せません…。

その…、私といつて何の…、やめに…、します…？

やめない…？

でもまたひどい事…、言われるかもしますよ…。

え…？

別にいいつて…、私と付合つてこね…、何う言われてもいいと…？
私がいつのも間違つているかもしませんが…、君は変わつた子ですね…。
あ…、いつも…。

でも喧嘩は駄目…。

いつも約束もしました…。

手…、出してないですよね…？

(安堵した感じで) いつも…。

約束を守れて偉い偉いです…。

カリ…、カリ…。

「じょ…、じょ…。

カリ…、カリ…。

「じょ…、じょ…。

(耳ふー) ふー…。

(弦く様に) 君と付合つてじる…、つか…。

ああいえ…、なんでもありません…。

もしあの噂…、嫌だつたひつつでもいつたり…。

あー…、特になにが出来る…、という訳ではありません…。

任せと下さる。君が傷付くならぬか。苦しみにならぬか。守つてあけますか。

その時は…、私から離れます…。

六

そんな顔で言われても…、私が困ってしまいます…。

うーん……、ではどうすればいいんでしよう……。

あそびた

君と和の事は、
軍隊を絶ゆせんが、
この、ハーロー戦隊ですか

卷之三

仲間が居て…、一緒に戦い…、助け合う…。

ମାତ୍ରକ...ମାତ୍ରକ

画圖の本とおもてなし

江戸の文化

卷之三

はい…、なにかあつたら私に相談して下さい…。

そして話し合いで解決出来る様…、一緒に考えましょう…。

いいですか？

はーい…、いい返事ですね♪

では」せんも梵天しましも」ね♪

(耳心一) ふつふつ…。

(耳ふー) ふー…。

ふーわ…、ふーわ…、ふわふわー…。

(耳ふー) ふつ'ふー…、ふつ'ふー…。

ふふふふ・

もう少しあつて欲しいんですよね…?

任せてドヤー♪

君の事はお見通し…、です♪

ふわつ…、ふわー…、ふわつ…、ふわー…。

(耳ふー) ふー…。

「」ふつよ…、「」ふつよ…、「」ふつよ…、「」ふつよ…。

(耳ふー) ふー…、ふー…。

ふわふわ…、「」ふつよ「」ふつよ…、ふわ「」ふつよ…。

(耳ふー) ふー…。

はーい…、おしまいです♪

と一つとも綺麗になりました♪

(位置4でマイクと反対を向いて／有聲音／かなり小声)

えーーと…、まだ夕方までは時間がありますね…。

(位置4／有聲音／ゆつぐつとボソボソとしたかなり小声)

どりしあす…?

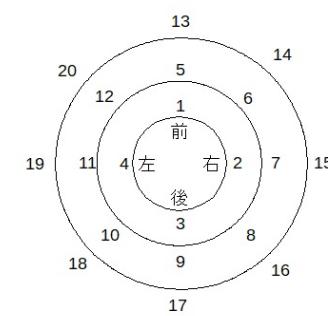
またお昼寝…、してこります…?

はい、決まりですね♪

ああ…、どこへも行きませんから…、大丈夫ですよ…。

(位置4／無聲音／囁き)

お休みなさい…、私のヒーローナン…♪



3：駄菓子屋さんとお化粧（駄菓子屋／午後）4093文字

（仄を開閉する音）

（位置14／有声音）

じゅうしゅやいませ…。

（足音）

（位置7／有声音／ゆつくりでボソボソとした小声）

ふふつ・

ああいえ…、もう完全にウチの子みたいだなつて思いまして…。
「うしておじたに入つて…、何氣ない時間を過ぐすのが当たり前に…。
君は…、退屈じやないんですか…？」
えう…。

な、う、い、い、ん、で、す、け、ど…。

ん…。

ねえ…。

なにか気付く事…、ありませんか…？

ほひ…、いつも私のとなにか違う…、みたいな…。

よーく見て下せ…？

ジー…。

（位置1／有声音／ゆつくりでボソボソとしたかなり小声）

ほひ…、じゅうぢです…。

しつかりと私を…、見て下せ…？

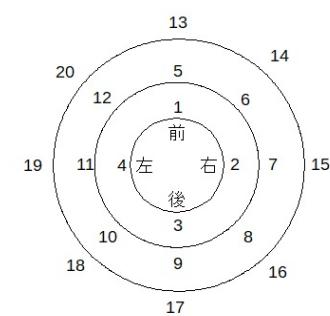
ジー…。

おや…？

気付ぞ…、ましたか…？

（位置5／有声音／ゆつくりでボソボソとした小声）

れうです…。



お化粧♪

私…、最近になつてお化粧に興味が出て来たんですね♪

それで…、君にも…、見てもういたいなつて思いまして…。

今日は君が来るつて分かつていましたから…、それでお化粧を…。

どう…、です…?

変じやないですか…?

本当…?

(**安堵と喜びた感じ**) よかつた…。

私…、今までお化粧には…、まったく興味ありませんでした…。
だつて…、私なんかがお化粧しても…、見せる相手も居ないんですね…。
でもその…、私も女性ですし…?

綺麗になりたいという願望がない訳ではありません…。

それでその…、母のお化粧を貸してもらつたんですね…。

君に…、一番に君に見て欲しかつたので…、褒めてくれてよかつた…。
へ…?

毎日…?

お化粧を…?

え…、でももし外で誰かに見られたら…、オバケがお化粧しているつて…、
からかわれるに決まつています…。

そう考へると…、やはりこれで外に出るのは…。

美人…?

えつと…、私が…?

またそういう冗談を言つて…。

本気…?

そりがとう…、『ジヤ』ます…。

ありがとうございます…。

なんだか照れますね…。
でも嬉しい…。

(咲く様に) それが君だから尚更…。

ああいえ…、気にしないでトヤー…。

うーん…、でもやはり外に出るには…、勇気が要ります…。
それに今のお化粧は…、見様見真似ですから…、

他人(ひと)には見せられません…。

ああ…、君は特別です…。

そう…、私にとっては…、君はトクベツ♪

あ…、いい事を思い付きました…。

外に出るかどうかとわから…、お化粧をもっと練習しきつと毗ひんぢや…。

せしてもう一つ…、いい考えがあるんですけど…。

それはですね…。

君にお化粧をして…、それで練習させてくれませんか…?

恥ずかしい…?

いいじゃないですか…。

他の誰かに見せる訳でもありますんし…。

もし失敗しても…、笑つたりしませんから…。

ね…、ヒーローハン…。

お願ひします…。

私を助けると恩つて…、この通りです…。

私たち…、ヒーロー戦隊の仲間でしよう…? ね…?

いいんですか♪

よかつた…。

お化粧は先程したばかりですか？…、もうまだあるんですけど…。

(化粧箱を開ける音)

(位置1／有聲音／ゆうべいりでボソボソとしたかなり小声)

ほひ…。

たくさん種類があるでしょう…？

これら一つ一つに役割があるんですね…。

で…、使う順番も決まつてこねんですつて…。

私…、全然知りませんでしたか？…、母に聞いて…、

手順を教えてもらひました♪

まず最初はですね…、汗や油分（ゆがせ）といった汚れを落とすんですね…。

本来は洗顔でしっかりと綺麗にするとですが…

今は練習ですので…、濡れたハンカチで代用しましようつ…。

と云つて…、じゅーと…。

濡ひしたハンカチー♪

準備がいいでしよう…？

君なら練習させてくれるつて信じていましたから…、用意していたんですね…。

少しヒンヤリしますが…、我慢して下さいね…。

「じー…、じー…、じー…、じー…、じー…。

あはつ♪

冷たいですよね…、「めんなさい…。

でもお顔が汚れてるのと…、お化粧ノリも持つもよくないないんですね…。
ですから「こは入念に…。

拭き…、拭き…、拭き…、拭き…。

ああでも…、擦り過ぎてもお肌を傷付けてしまつますので…、程々に…。
さつ…、さつ…、さつ…、さつ…。
うん…、これべりいでしようつか…。

次は……、ああこれつ……。

化粧水です……。

これはお肌に水分を与えて……、潤いを持たせる効果があるんですつて……。君は……、元々お肌が綺麗ですかう……、要らないかもしませんね……。

ですが「これも練習……。

教えてもらつた通りにやつていやましよう……。

手に化粧水を取つて……、両手に馴染ませる……。

そうしたら……、トントンと軽く押し込む様に……、お肌に馴染ませます……。

トントン……、トントン……。

どうですか……?

いつもと違います……?

チカラがみなぎつてきた……?

もう……、もうこの効果はありますせんつ……。

直ぐに「うぎ」立るとかう……。

トントン……、トントン……。

あ、ほり……。

段々とお肌がモチモチになつてきたの……、分かります……?

凄いでしよう……?

モチモチ……、モチモチ……。

つと……。

これくらじ……、でしようか……?

はい次です……。

(**咲く様に**) 化粧水の次は……、乳液でしたね……。

乳液は……、化粧水で得た水分を……、維持してくれる役割があるんですつて……。モチモチ肌がずっと続く……、という事ですね♪

では乳液をお肌に馴染ませていらますね…。

やっぱとは違つて…、クリーム状ですかうね…。

しつかつと延ばしながら…。

お顔全体を包み込む様に…。

塗り…、塗り…、塗り…、塗り…。

なるべく薄く…、着け過ぎない様に…。

ペタ…、ペタ…、ペタ…、ペタ…。

うーん…、そろそろどうしようか…。

ねえ…、触つてみてトセ…。

どうですか…?

でしょ?…?

ツヤツヤのフルン…、ですか
まるで赤ちやんみたいですか

え…?

赤ちやんじやない…?

ああ…、例えですよ、例え…。
ちやんと知つてますよ…。

君はヒーローだつて…。

やあ…、ヒーロー…。

次はいよいよファンデーションです…。

これぞお化粧つて感じがしてきませんか?

ふむ…、君にはファンデーションを…。

まあいいでしょ?…。

あくまで…れは…、私のための練習ですかうね…

は…、ではファンデーションを…。

「パフ」というスポンジに…、少量だけ取ります…。

ポンポンポン…。

「これくらいでいいでしょうか…。

ではこれを…、先ず「かうの頬から…。

これも均一に…、ムラが出来ない様にします…。

ポンポンポン…。

小鼻の際は…、パフの角を使って…。

いい感じですか?

そのままでいいのおでこも…。

ポンポンポン…。

よし…。

では反対のお顔ですね…。

ファンデーションを付け直して…。

「かうも頬から先に…。

ポンポンポン…。

小鼻と鼻筋も忘れずに…。

最後に「かうの鼻でこ」を…。

ポンポンポン…。

よし…。

中々いい感じでしようか…。

これでお顔全体が整いました♪

続いて部分的にお化粧をしていきますよ…。

え…?

ええ…、まだまだこれかうです♪

長い…?

仕方がありません…。

私が慣れていないもありますが…、お化粧は時間のかかるものなんです…。

ですから……、もう少し我慢、我慢……、ですか。

では……、田元のお化粧をしてこやかしようか……。

使うのは「れ」ですか。

アイシヤゾーヘ

「れ」を使う事で……、田元が一気に華やかになるんですよ。

何色がいいですか……？

好きなのを塗つてあげます。

これですね……？

流石は男の子……。

やつぱり青が好きなんですね♪

じゃあ「れ」を……、筆に取つて……。

もうたに塗つていいので……、田を閉じてもうえますか……？

はーい……、怖くないですか……？

サツ……、サツ……。

これは均一ではなく……、濃淡が出る様に……。

サツ……、サツ……。

うーん……、一端田を開けてもうえますか……？

わあ……、かわ……、カツコといつ。

まるで口巻クスターみたいですね……♪

ええ……？

カツコといつて言いましたよ……？

それに……、君は知らないかもしませんが……、

昔は男性もお化粧をしていたんですよ……？

本当です……。

ものす「」——昔から……、お化粧は男女関係なく……、親しまれてきたんですね……。

ですから……、いま君がお化粧している事も……、変じやないんですよ……？

分からなくても…、知つてもういえればそれでいいんですね…。

つて…、私も最近調べて知つたばかりなんですねけどね…、あはは…。

さて…、アイシャドーの次はマスカラです♪

これで…、まつ毛を多く、太く見せる事ができるんです…。

つと…、その前に…、これです♪

ビューワーと書いて…、まつ毛を上向きに整えてくれる、優れものですね♪

また目を閉じてもうれますか…?

はい…。

これでまつ毛をくじら…。

いつもチカラを入れ過ぎない様に…、くじら…。

うん♪

ではマスカラです…。

皿を開けて下さいね…。

はーい…。

ではマスカラを…、ダマにならない様に…。

シューシューシュー…。

「うひうも…、シューシューシュー…。

わー…、凄い…。

演劇のステージに出でちゃうなお顔になつてしまつたよ…♪
もう少しで終わりますからね…。

次はチークです♪

ほー…、女性で頬を赤くお化粧しているの…、見た事ありますか…?

そう…、あれです…。

これは塗り過ぎると…、酔っ払いさんみたいになつてしまつて注意です…。
気を付けないとけませんね…。

ではこの…、大きめの筆で塗つていきます…。

筆に着け過ぎな様に…。
よし…。

やうしたう類を撫でる様に…。

「ワツ…、「ワツ…、「ワツ…。

反対側も…、「ワツ…、「ワツ…、「ワツ…。

うん…、健康的でいい感じになつてます♪
セヒ…、いよいよ最後です…。

最後は…、「れ…。

そう…。

口紅です…。

お化粧…、と言つたら「れと言つた感じですよね…。

口紅は…、母が「れ一色しか持つていないので…、「のオレンジ系ので…。
真つ赤なのを予想していました…?

やつぱつねうですね…。

でも口紅つて色々な色があつて、肌や服装に合つた色を選ばんですつて…。
母はやつこのに無頓着ひへつて…。

それで「」の一色だけ…。

でも塗つてみると自然な色合いで…、肌に馴染むなーつて思つぱすです♪
では塗つて「やましょ」…。

少し口を開けても「ますか…?」

ええ…、それぐらう…。

すーつ…、すーつ…。

下側も…、「すーつ…、「すーつ…。

少し指で馴染ませますね…。

すーつ…、「すーつ…、「すーつ…。

よーし、完成つべ

では鏡を…。

ジャーン♪

お化粧した自分のお顔…、どうですか…?

え…、変…?

そうでしょうか…。

私はかわ…、カッコいいと思こますけど…。

本当に…。

本当に思つてます…。

え…?

お化粧を取りたい…?

もうですか…?

もうちょっとそのままでいいませんか…?

その…、もう少し見ていたいんですね…。

駄目でしようか…?

いいんですね♪

トクベツ…?

ふふつ♪

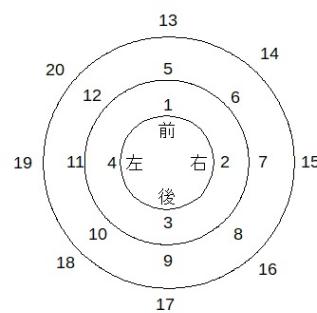
そうですか…、私は「特別」ですか…。

嬉しいですね…。

ああ…、大丈夫ですって…。

あとでちゃんと綺麗に落としてあげますから…。

それまでは…、じつぶつ見て下せん♪



4：駄菓子屋さんとお散歩（駄菓子屋／午前）2170文字

（口を開閉する音）

（位置5／有聲音／ゆつぐりでボソボソとした小声）

あ…、来ましたね…。

えっと…、身の周りの準備は出来てます…。

ですが…、心の準備がまだ…。

本当にお散歩…、行くんですか…？

他の子や…、近所の人を見られるかも知れないのに…？

そう…、ですか…。

君は簡単に言つますけど…、私にとっては…、

とても勇氣の要る事なんです…。

それに…、私だけでなく…、君にまで悪い影響があるかも知れないと…、
もう思つてしまつんです…。

任せり…？

随分自信ありげですね…。

君はどんな時でも強い子…。

ふふつ♪

なんだか私も…、少し勇氣が出てやせました…。

ええ…、では…、行きましょつか…？

（駄菓子やから出る音）

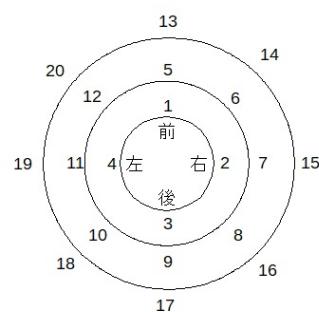
（位置7／有聲音／ゆつぐりでボソボソとした小声）
(深呼吸) す…、ふう…。

外に…、出ましたね…。

ああ、確かに。

まだお店の前ですね…。

え…？



連れて行ってくれるんですか……？
えっと……、ではお願ひします……。

はい……、手を……。

(二人の足音)

あの……、大丈夫でしょうか……？

周りに人……、居ません……？

誰かに見つかりていません……？

ああ……、どうしましよう……。

考えたり……、怖くなつてやめた……。

やつぱり……、引き返しませんか……？

(位置7でマイクと反対に向いて／有聲音／ゆつぐつボソボソとした小声)
ほう……、まだウチのお店が見えています……。

(位置7／有聲音／ゆつぐつボソボソとした小声)

ああ……、わよつと……。

あまり強く引っ張らないで下せ……。

大丈夫つて……。

君は平氣でも……私にとつてはほほ学生時代ぶりの外出なんですね……。

口から心臓が飛び出しちしまいました……。

それぐらじでキドキしてしまいます……。

あつ！

あれ！」……。

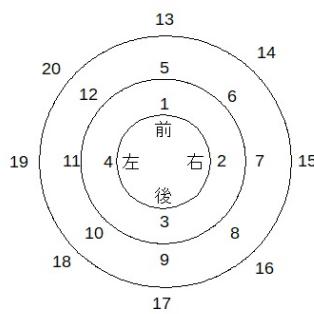
人が居ませんか……？

居ますよね……。

しかも！」のまま進んだり……、すれ違つんじやないでじょつか……。

ひ、引き返しましようつ……！

そ、それともどりか隠れる場所……、はあつませんね……。



はわわ…、もう直ぐそこです…。

(位置2／無想音／囁キ)

こ、こんにちはって…、挨拶されます…。

これにて……私にしてしまうか……それとも君に……?

お返事しないといけない

そう…、なんですか…？

ルウト……、ジヤあ……、嘗つてみます……。

(位置7／有聲音／小聲／上ずつた声で)

九
一

行 一 い ま し ま し た

卷之三

(位置づけ／有声音／ゆいづけ／ボンボンとした小声)

۱۰۳ ایران

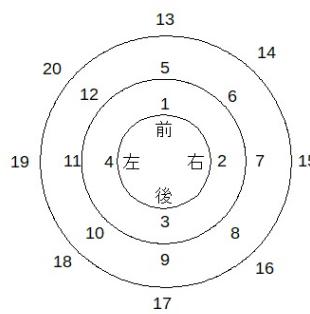
いえいえ……、そんなはずはありません……。
だつて……、私なんか……。

え？

はあ…、確かに私しか居ませんけど…。

という事は……やはり私に……？

オバケ……、なんて言っていた私が……？



嘘みたい…。

「なつ」つて…。

もう…、分かつた様な事を言つて…。

でも君には…、感謝しないとけませんね…。

ありがとう…、ヒーローナン。

あつ！

「、今度は子供たちが「」に向かってしゃべります…。
今度「」もマズいです…。

色々言われるに決まつてこます…。

どうします…？

「」から逃げますか…？

(位置8／有聲音／ゆつぐりでボソボソとした小声)

あ、ちょっと…、引っ張らないでトセ…。

「」のままだと子供たちに鉢合わせで…。

あ…。

(位置5／有聲音／ゆつぐりでボソボソとした小声)

あの…、ちよつと…。

君…、助けてトセ…。

囮まれてしまふました…。

え…？

綺麗…？

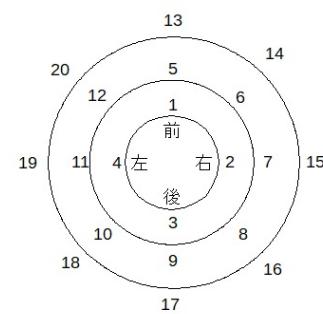
私の事ですか…？

そ、そんな君たち…、冗談はやめてトセ…。

へ…？

付合つて…？

私との子が…？



えつと…、誤解ですつ…。

そ、そういうのじやありませんつ…。

私たちは…、あー…、ヒーロー戦隊の仲間ですつ…。

仲間に…、入りたい…?

ちょ、ちょつと待つて下せ…。

き、君…、ニヤニヤ見ていないで…、助けて下せよ…。

え…?

私ですか…?

私は…、その…、駄菓子屋の…。

やはり驚きますよね…。

オバケ…、そつにわれているんですか…?

な、何で君たちが謝るんです…?

(相槌)ええ…。
(相槌)ええ…。

はあ…、つまり、噂だけで怖がつていた…、そういう感じですね…?
ああいえ…、いいんです…。

噂つて言つのは…、思ひの外、広がりやすいですか…?
それに…、君たちへりこ子でしたら…、怖がるのも当然…。
ですから…、そんなに謝らないで下せ…?

え…?

今度お店に来て下されるんですか…?

そう…、ではお待ちしてますね♪

はい…。

わつ…

ちよつと君たち…、引っ張らないで下せ…。

あつ、ちよつと抱き着くのもなしですつ…。

や、君つ、助けて下さい……つー

はい……「」は逃げるが吉です……つー

走りますよ……つー

(暫く一人が走る足音)

(位置11／有声音／息を切らしながら小声)

はあ……はあ……。

もう駄目……これ以上は走れません……。

誰も……ついてきていないです……。

ふう……。

久しぶりに……走ったものですから……足が震えてしまっています……。

君は……?

大丈夫ですか……?

そう……体力があつて羨ましいです……。

(位置11／有声音／小声)

(控え目な笑い) ふつ……あはつ……あははつ！

ああ……「」めんなさい……。

なんだかおかしくて……。

(位置11／有声音／ゆっくりでボソボソとした小声)

と「」で……「」は「」でしょ……?

必死に走つて来たものですから……見覚えのない場所に……。

あつ……。

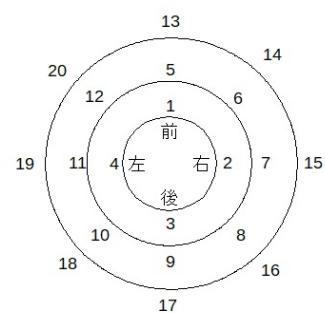
桜……。

そつか……もうそんな時期だったんですね……。

咲いて「」桜を見るのは……何年ぶりでしょ……。

(位置11で辺りを見回しながら／有声音)

わあっ、凄いっ！



見て下さい…っ！

「か、か、向」へ、ま、すーーと桜並木が続いてしますーー！
こんな光景が見られるだなんて…。

（位置11／有聲音／ゆっくりでボソボソとした小声）
それに…、近所の人や子供たちから…、怖がられなかつた…。
外に出て…、よかつた…。

こんな晴れやかな気分……いつ以来でしようか……
いえ……人生で初めてかもしません……。

なにもかも…、君のおかげですね…。

なにかお礼をナシで下ナシ…。

なにか欲しいもの…、ありませんか…？

なにも要らない……?

卷之三

偉い偉いですね♪

ではなんですか

（位置ナシ無聲音囁き）
ありがとう…、小さなヒーローさん…。

(頬にキス音) チュッ♪

